

富士通沼津クラウドセンターにおける サービスのリリースサイクル短縮に向け た取り組み

富士通)ソフトウェア開発クラウドセンター)
大柚 智

■ 奈良県大和郡山市 出身

- 金魚すくいで町おこし
- 平城宮(跡)まで車で10分

■ 2009年富士通 入社

- 09年～12年
 - ・ソースコード静的解析の製品適用支援
- 12年～
 - ・プライベートクラウド(の中のサービス)開発&運用

■ 趣味

- 将棋
 - ・電王戦見て始めました。もうすぐ初段。
- マラソン
 - ・ダイエットのため夏から始めました。ハーフマラソンをなんとか完走。

■ 富士通沼津工場

- 静岡県沼津市
- 最寄りのコンビニまで車で10分
- すぐ裏にゴルフ場有り

■ ソフトウェア開発クラウドセンター

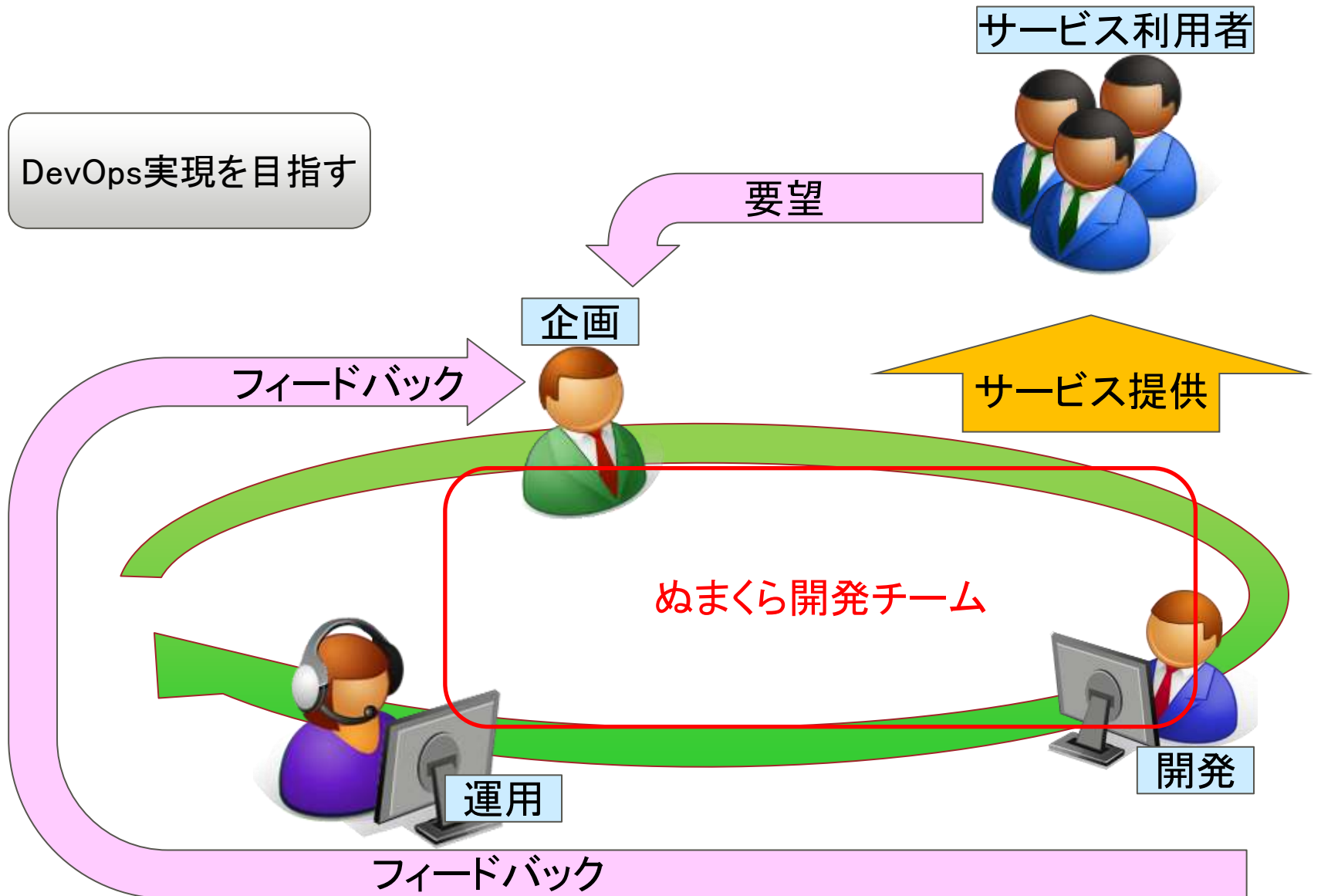
- 富士通のソフトウェア開発者向けサービス
 - ・プライベートクラウド環境の提供

■ ぬまくら開発チーム

- 沼津でクラウドサービスの開発運用
- 2013年春からアジャイル(スクラム)導入
- PO1名、SM1名、メンバ3名



ぬまくら開発チームを取り巻く環境



■ スクラム前: なんちゃってWF

■ 要件定義に難航

- 工期の半分以上
- 後半で変更多数
- 工程が並行

■ 理由

✓ **モノが無いまま要件定義の議論をするのが難しかった**

	2012年			2012年			2013年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予定	要件定義		設計・開発・テスト				リリース&運用		
実績	要件定義			設計・開発・テスト			順次リリース&運用		

■ リーダの想い

■ より良いサービスを素早く提供したい

- 課題1:「まずは最低限の要件だけでサービスを作ってリリースする」
 - 開発とサービス運用で「サービス」の認識に食い違いがあり、すりあわせに時間がかかった
 - 開発「どんなサービスをやりたいですか？」→運用「DBで〇〇や××を管理したいです。」
- 課題2:「利用者の反応を見ながらサービスを進化させ続ける」
 - システムに入ったのはサービス運用者の意見ばかりだった

■ メンバの想い

■ とにかく現状を変えたい

- ちゃんとプロセスに乗って作業をしたい
 - なんちゃってWFは**無法地帯だった**
- どうせなら楽しくやりたい&新しいことをやりたい

➤ スクラムを採用

ぬまからスクラムのサイクル



プランニングポーカー

計画
(1日)

チケット駆動開発

バーンダウンチャート

ユーザストーリー

1スプリント=2週間

タスクボード

レビュー
&振り返り
(1日)

開発
(8日)



KPT

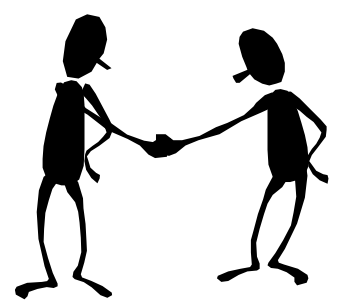
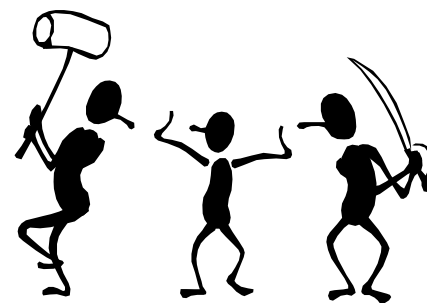
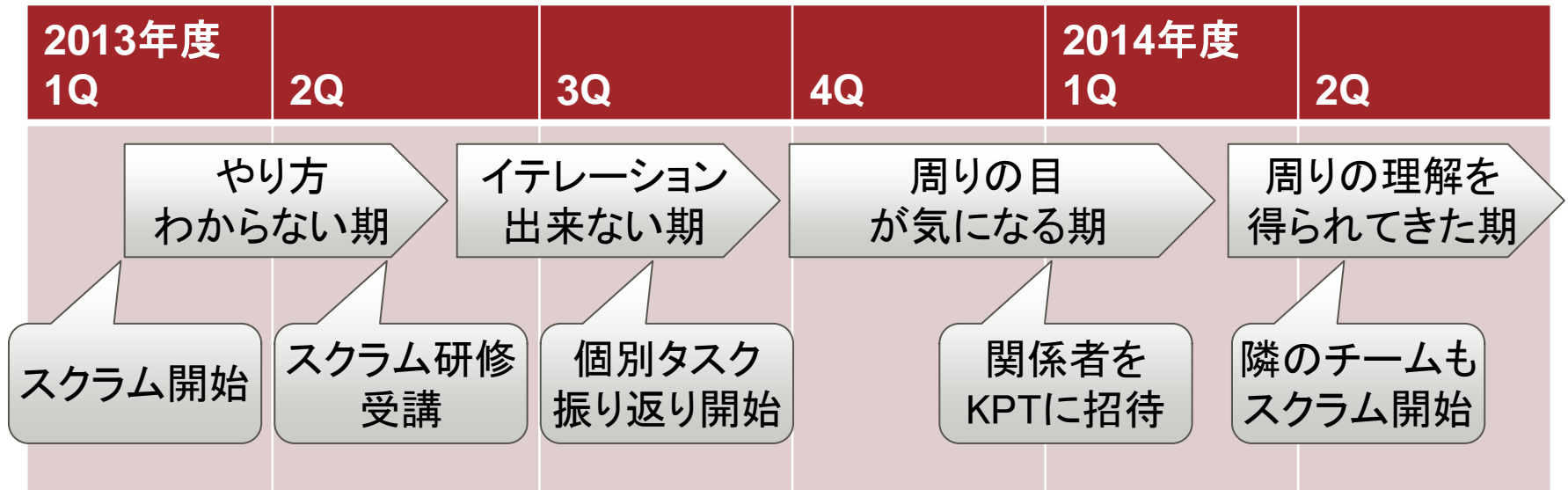


勉強会

朝会

ペアプログラミング

スクラム開始から現在までの様子



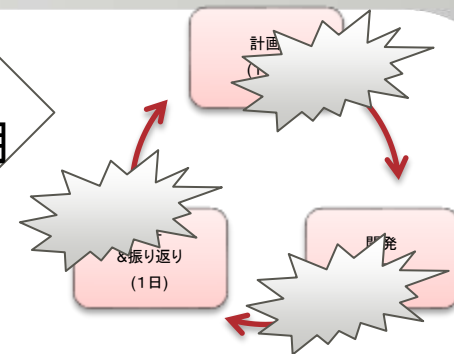
スクラム？始めました(最初の三ヶ月)

やり方
わからない期

イテレーション
出来ない期

周りの目
が気になる期

周りの理解を
得られてきた期



■ KPTの様子

- Problemが壮大なので具体的なTryが出ない

・ P:見積り通り終わらなかった → T:見積り精度を上げる

■ ブレイクスルー

- やり方がわからず右往左往(無法地帯で楽しくない)

➤ みんなのスクラムに対する知識・意識を合わせよう

➤ スクラム研修を全員で受講(なんか楽しい!)



■ スクラムチームメンバーの声

- (当時のSM):アジャイルを自分たちに都合のいいように解釈して、大事なことをやらず、サボるためだけにプロセス変更ばかりやるのではないかと心配だ。
- (オブザーバ):朝会なのに座っているなあ、長いなあ(40分くらいやってる)
- (メンバ):バーンダウンチャートが遅れっぱなしだけど、いつものことだし、自分だけの責任じゃないし、まあいっか。

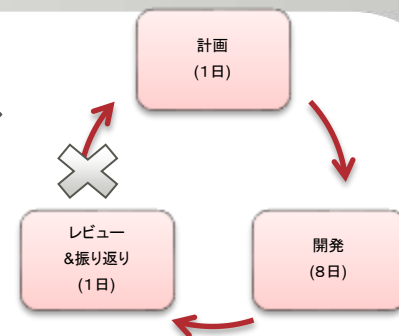
スクラム始めました(次の三ヶ月)

やり方
わからない期

イテレーション
出来ない期

周りの目
が気になる期

周りの理解を
得られてきた期



■ KPTの様子

■ 個別タスクの振り返りを開始

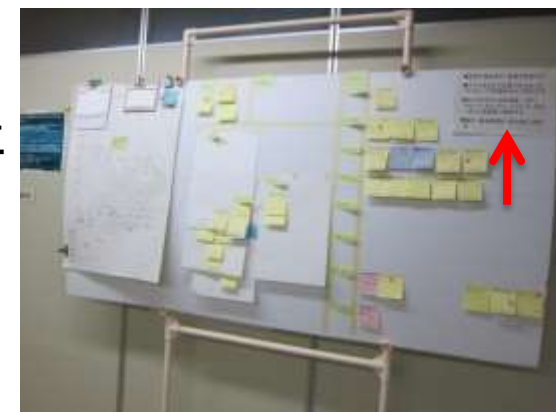
- ・ 見積り時間の2倍以上かかったタスク (YaBaiタスク)
 - 具体的なPが出始めたので、実施しやすいTが出るように

■ ブレイクスルー

- Tryはたくさん出るが、やらない (誰かがやるだろう)
 - やりたいTryを1人1つ選んで宣言 (自分がやるんだ!)

■ スクラムチームメンバーの声

- (メンバ) : ペアプロについていくのが大変だ。タスクを洗い出すのは仕事がやりやすくなった。
- (メンバ) : 見積りは詳しい人に任せればいいや。ペアプロのおかげで一人で悩むことが減った。



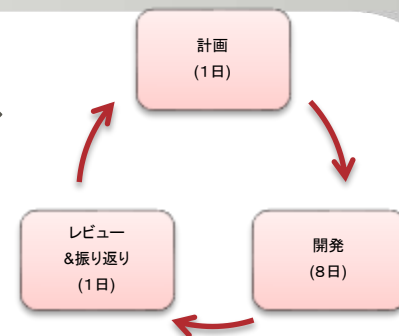
スクラムやっています(そこから半年)

やり方
わからない期

イテレーション
出来ない期

周りの目
が気になる期

周りの理解を
得られてきた期



■ KPTの様子

■ YBタスクが減ってきた

- ・ 振り返り対象を増やしたい
- ・ 作業のやり方に問題があった(PooR)タスクを自己申告しよう

■ ブレイクスルー

■ 周囲の理解が得られていないように感じる

- ・ 計画の日にPOが休んだ時
- 関係者を計画、レビュー&振り返りに招待
- **徐々に慣れてきた感有り&隣のチームも興味**

もう帰っていい？



PO代理

■ スクラムチームメンバの声

- (メンバ) : ペアプロ疲れるけど超楽しいです！
- (メンバ) : 技術の格差をどう埋めるかが課題だ。
- (メンバ) : 異動先にスクラムを広めます！



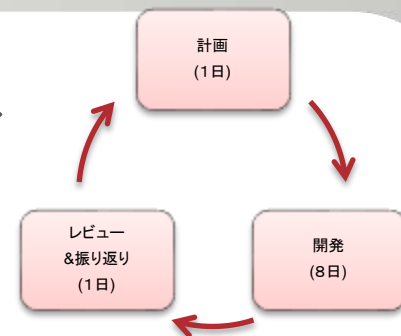
まわりもスクラムはじめました(現状)

やり方
わからない期

イテレーション
出来ない期

周りの目
が気になる期

周りの理解を
得られてきた期



■ KPTの様子

- チームメンバ以外も発言

隣のチームもスクラム開始

■ ブレイクスルー

- レビュー指摘の反映をもっと早くしてほしい
- 受け入れを簡略化して素早くリリースしたい
- テストを企画 & 開発 & 運用が共同で実施
 - スプリント内での指摘反映 & リリース



■ 新しくスクラムを始めたチームメンバの声

- (SM): 作業計画の具体化、課題の共有がしやすくなった
- (メンバ): チャートは進捗が一目でわかるようになって良い
- (メンバ): POをちゃんと決めるのが難しい。スクラムに慣れてきたが、プラクティスに目が行ってしまっていて、アジャイルソフトウェア開発宣言や12の原則を忘れがちだ。

■ 解決できた課題

◎「まずは最低限の要件だけでサービスを作ってリリースする」

沼クラ年表(✓=リリース)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2012年			✓			✓		✓		✓		✓
2013年	✓✓		✓✓		✓✓	✓	✓✓✓	✓✓		✓✓✓		
2014年	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

◎ペアプロによる属人化解消

in 3人, out 7人 だが、人の入れ替わりに関して特に問題無し

■ まだ残っている課題

×「利用者の反応を見ながらサービスを進化させ続ける」

- 問合せシステムに挙がった利用者要望の反映
 - ユーザ要望であるAPIは実装したが、利用者が少ない。ニーズが無かった？ 広報の問題？
 - 利用者集めて座談会？ 新機能の使い方講座開催？
- 品質の確保
 - 手動テストの工数が大きい
 - 自動テストのカバレッジ向上

■ アジャイル1年生の時に学んだ大切なこと

■ まずはやってみましょう

- ・ やってみて、出た結果をもとに考えれば良いです
- ・ 効果がでなければやり方を変えれば or 辞めればよい

■ 定期的に振り返りましょう

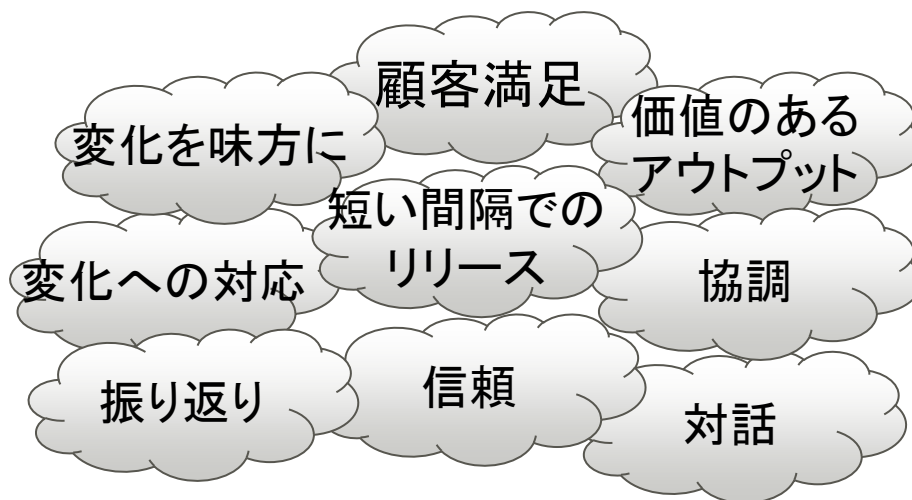
- ・ 忙しくなってくると振り返る時間を削りたくなりますが、削るべきではないです
- ✓ 何度も振り返りで話し合ううちにサービス運用者との壁は薄くなっていきました

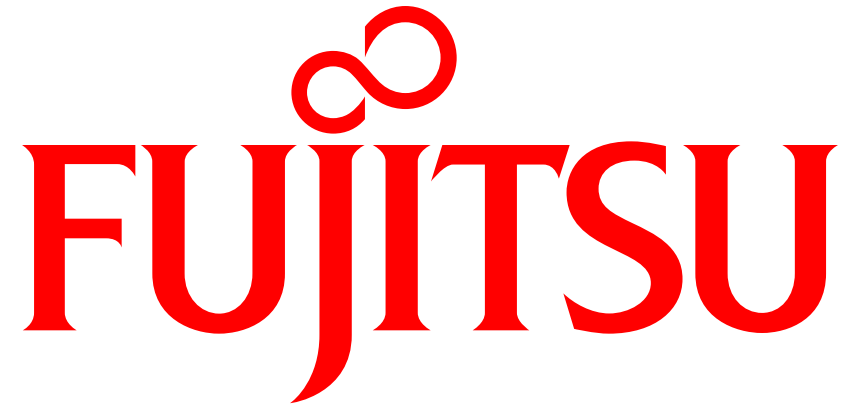
■ 周りの人を上手く巻き込みましょう

- ・ 巻き込めないとフロア内で浮きます
- ・ 意見交換できるともっと良くなります

■ アジャイルに対する想い

- アジャイルは楽しい！
- **アジャイルの考え方**を広めたい！





shaping tomorrow with you

付録

ツール類の紹介

- 統合開発環境 : Eclipse
- チケット管理 : Redmine
- 自動ビルド + テスト + (デプロイ) : Jenkins
- バージョン管理 : Git
- ビルド : Maven
- Mavenリポジトリ管理 : Apache Archiva
- テスト : Junit + PowerMockito
- テストカバレッジ : Cobertura
- 静的解析 : FindBugs™ + Checkstyle
- ソースコード検索 : OpenGrok